

20世紀から21世紀へ

放送は何を伝えてきたか

長縄 年延

# メディアプロフェッショナルコース 2003年～2010年

- メディア関連企業の協力による  
社会連携講座
- 卓越した見識と先見性をもった  
メディアプロフェッショナルの育成
- 現代のメディアの教育・研究拠点
- 講義は広く他学部・大学・一般に公開

# メディア史の研究



日本放送協会編  
「20世紀放送史」  
NHK出版、2001

あるメディアの全盛期には  
その実態を把握することは  
むずかしい。  
次世代メディアの出現よって  
初めて本当の姿が見てくる。

## <ラジオ放送略史 戦中>

1920年 アメリカKDKA放送開始

1922年 イギリス放送会社放送開始

1923年 関東大震災

1925年 日本のラジオ放送開始

1939年 第2次世界大戦はじまる

ヒットラーのラジオ演説(9/1)

イギリス国王宣戦布告演説(9/3)

1941年 大本営発表 太平洋戦争始まる(12/8)

1945年 玉音放送 太平洋戦争終わる(8/15)

- 2009年8月16日放送

## ETV特集

### 戦争とラジオ 第1回

### 放送は国民に何を伝えたのか

## <ラジオ放送略史 戦後>

1945年 天気予報復活(8/22)

放送電波管制解除 放送復帰(9/1)

初期対日方針「非軍事化・民主化」(9/22)

1947年 新憲法施行

1950年 電波3法施行 特殊法人日本放送協会発足

朝鮮戦争始まる(6/25) レッドパージ(7/24)

1951年 民間放送開局(中部日本放送・新日本放送)

1953年 NHKテレビ放送開始 日本テレビ放送開始

1955年 トランジスターラジオ発売

1958年 ラジオ受信契約 1481万 最高

## <テレビ放送略史 開発期>

- 1926年 高柳謙次郎テレビ実験に成功(12/25)
- 1935年 ベルリンでテレビ放送開始(3/22)  
フランスでテレビ放送開始(4/27)
- 1936年 ベルリンオリンピックでテレビ放送(8/1)  
イギリスBBCテレビ放送開始(11/2)
- 1940年 東京オリンピック中止
- 1941年 ニューヨークでテレビ放送開始(7/1)  
.....
- 1951年 正力テレビ構想発表(9/4)
- 1952年 日本テレビにテレビ予備免許(7/31)

## ＜テレビ放送略史 初期・成長期＞

1953年 NHKテレビ放送開始(2/1)

日本テレビ放送開始(8/28)

街頭テレビの時代

1959年 皇太子ご成婚式中継(4/10)

1962年 テレビ受信契約1000万突破

1963年 日米テレビ衛星中継実験(11/23)

ケネディ大統領暗殺

1964年 ベトナム戦争始まる(8/2)

東京オリンピック(10/10-)アメリカへ衛星中継

1967年 テレビ受信契約2000万突破



## <テレビ放送略史 発展期>

- 1969年 日本GNP世界第2位  
宇宙船アポロ月面着陸テレビ中継(7/21)
- 1975年 サイゴン陥落 ベトナム戦争終わる  
テレビ広告費新聞を抜き1位 4208億円
- 1976年 NHK特集放送開始
- 1983年 「おしん」放送 最高視聴率62.9%
- 1984年 放送衛星による試験放送開始
- 1985年 ニュースステーション放送開始
- 1989年 衛星放送S1S2本放送開始  
ベルリンの壁崩壊(11月)
- 1991年 ソビエト連邦崩壊(12/26)

## <テレビ放送略史 多メディア期>

1992年 通信衛星によるCSアナログ放送開始(4/21)

1995年 阪神淡路大震災(1/17)

地下鉄サリン事件(3/20)

1996年 CSデジタル放送パーフェクTV放送開始

2000年 衛星放送受信契約1000万超える

BSデジタル放送開始(12/1)

2001年 アメリカで同時多発テロ事件(9/11)

2003年 地上波デジタル放送開始(東京大阪名古屋)

2011年 地上衛星波アナログ放送停波

# 21世紀 放送メディアは？

- 全面デジタル化(2011年7月)
- HD内蔵デジタルハイビジョンテレビの普及
- 放送と通信の融合時代
- スマートテレビ スマートフォン等の普及
- いつでもどこでも
- 放送業界再編 「放送も」やる事業体に
- NHK・民放 ネット時代のビジョンは？

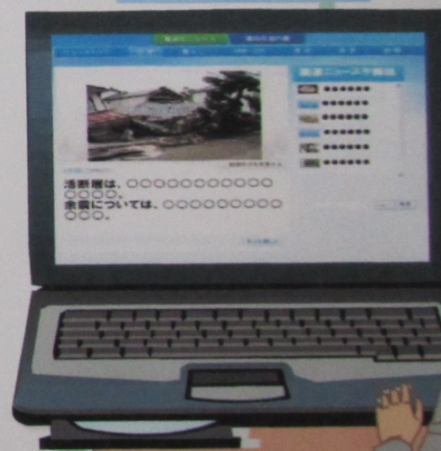
# 「いつでも、どこでも、もっと身近に」(“3-Screens”)

## ○緊急災害の場合

テレビ



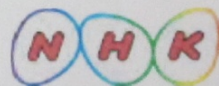
パソコン



携帯端末



- ・最新の地震情報をキャッチ
- ・避難場所や医療機関の情報等を確認



確かな情報・コンテンツを  
それぞれのメディアの利用形態に  
ふさわしい形で提供

“公共の広場”の役割を果たす

- ・直近のニュースや関連情報を検索
- ・自ら情報を発信